

市民とともに歩む持続可能な東久留米の農業 東久留米市 農業振興計画

概 要 版



計画期間

令和8年度から令和17年度までの10年間



1. 農業振興計画の基本方針と目標

■ 農業振興の将来像

市民とともに歩む持続可能な東久留米の農業

■ 農業振興計画の基本方針

農業振興の将来像を実現するために、本計画では以下の基本方針に基づき、計画を推進していきます。

- I 収益性の高い農業の実現
- II 暮らしを豊かにする農のある空間の保全
- III 暮らしに新たな価値を創造する農業の展開
- IV 東久留米市農業振興計画の推進

■ 農業振興計画の目標

令和17年度の計画値を次のとおり設定します。

① 農家数

概ね130戸

② 農地面積

概ね110ha

※中核的な農家

年間目標所得300万円以上の農家

※中心を担う農家

年間目標所得100万円以上の農家

中核的な農家数
55戸

東久留米市農業の中心を
担う農家数 80戸

計画総農家数130戸
(令和17年度)





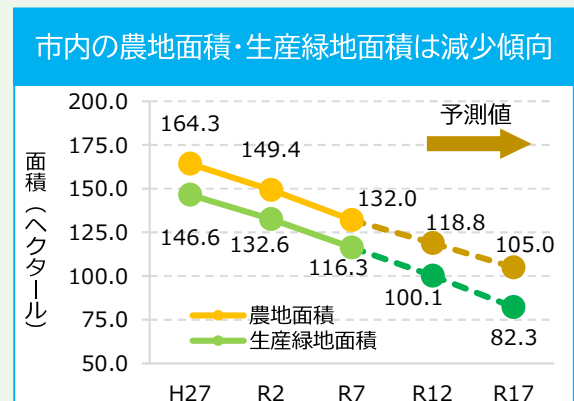
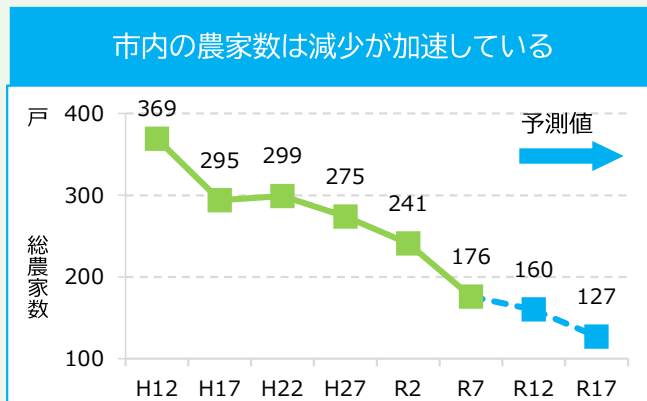
2. 東久留米市の農業の現状と課題

2-1 市を取り巻く環境の変化

- ・食料安定供給をめぐる情勢
- ・人口減少と少子高齢化
- ・ふれあい型農業への関心の高まり
- ・消費者ニーズの多様化
- ・農業が担うべき多様な役割の変化
- ・自然災害の脅威

2-2 農家数・農地面積・生産緑地面積の減少

厳しい相続税の税負担や、都市化による営農環境の悪化により近年は、農家数・農地面積・生産緑地面積ともに減少が加速しています。



2-3 本市の農業の強み・弱み・機会と脅威、農業振興の課題

東久留米市の農業の強み

- ① 湧水群など豊富な水資源
- ② 温暖な気候
- ③ 標高差の少ない肥沃な畑地帯
- ④ 東京圏の消費人口の多さ
- ⑤ 都内でも有数の小麦の生産地
- ⑥ 野菜類の生産量の多さ
- ⑦ 市民・体験型農園等の利用ニーズの多さ

東久留米市の農業の弱み

- ① 生産者の高齢化と担い手不足
- ② 農家数の減少
- ③ 認定農業者の確保
- ④ 援農体制不足
- ⑤ 農地面積の減少
- ⑥ 農地の賃貸借の伸び悩み
- ⑦ 都市化による農業環境の悪化
- ⑧ 地場産農産物の知名度の低さ

東久留米市の農業の機会

- ① SDGs の目標達成
- ② 農地を残すという意識の高まり
- ③ 首都圏の大消費地の存在
- ④ 野菜直売所の多さ
- ⑤ 地産地消の意識の高まり
- ⑥ 新鮮・安全な農産物を求める消費者意識の高まり
- ⑦ 環境負荷低減の取組の進展
- ⑧ 都市住民とふれあう農業

東久留米市の農業の脅威

- ① 経済的変化による資材費等の高騰
- ② 近年の異常気象による作物被害
- ③ 市民の食生活の変化 (需要量の減少、食の外部的化、個食化)
- ④ 野菜価格の下落
- ⑤ 輸入農産物量の拡大
- ⑥ 農業の景気低迷による農地転用の増加と優良農地の減少

農業振興の課題	施策の主要課題
農業後継者不足と販売農家の育成	① 担い手の確保・育成 ② 認定農業者の確保 ③ 農業経営の確立 ④ 市民による援農体制の確立 ⑤ 経営体の近代化
生産者の販売機会の拡大	① 地場産農産物の販売拡大 ② 安全安心な農産物の販売拡大 ③ 環境保全型農業の推進
都市化の進展に伴う農地の減少	① 相続税等対策の支援 ② 農地貸借制度の普及啓発 ③ 生産緑地の確保 ④ 市民活用による農地の保全 ⑤ 防災機能としての活用
都市農業に対する市民の理解	① 体験型イベントの実施 ② 販売イベントの実施 ③ 学校給食等での新鮮で安全な農産物の供給 ④ PR や周知の実施



3. 農業振興の将来像と施策の展開

本市の農業には、農業の担い手の育成、収益性のある農業経営の強化、農地の保全に向けた取組などが求められ、また地産地消の推進や SDGs の達成に加え、自然にやさしい環境保全に配慮した農業を推進していく必要があることから、以下の施策を実施していきます。

農業振興の将来像…市民とともに歩む持続可能な東久留米の農業

I. 収益性の高い農業の実現

1. 活力ある経営体の育成

- ・農業経営の確立
- ・経営体の近代化、改善
- ・生産環境の整備

2. 担い手の育成・確保

- ・担い手の育成
- ・生産者組織の育成・支援
- ・市民による援農体制の検討

3. 地域性を生かした農業生産

- ・地域の特徴を生かした農産物の振興
- ・環境保全型農業の促進

4. 消費者と結びついた流通、販売

- ・市内流通・販売の検討、推進
- ・直売所の整備【拡充】
- ・観光農業の充実



柳久保小麦を使用したうどん



無人直売所のロッカー型自販機

II. 暮らしを豊かにする農のある空間の保全

1. 生産緑地の維持、保全

- ・生産緑地の確保
- ・相続対策の支援

2. 農地の保全と有効利用

- ・農地に関する情報発信
- ・市民活用による農地保全
- ・防災機能としての活用
- ・農地の貸借における仲介の促進

3. まちづくりとの連携

- ・農のあるまちづくりの推進
- ・関連計画との調整
- ・農業集落環境の保全



生産緑地の確保



農業体験型農園の整備

III. 暮らしに新たな価値を創造する農業の展開

1. ふれあい型農業の推進

- ・農業情報の提供
- ・市民と農業の交流機会の拡大
- ・農業体験の場の確保
- ・幼児、学校教育との連携

2. 都市環境へのうるおいの提供

- ・生態系、水環境に配慮した農地等の周知
- ・屋敷林、雑木林の活用



多くの来場者でにぎわう農業祭



4. 重点事業

厳しい財政状況下で、計画期間内に政策資源を重点的に投入することが求められることから、本計画では以下の3つの観点により、それぞれの政策に対し重点事業を設定し、市の都市農業振興策を重点的に推進していきます。

【重点事業設定の観点】

I 重要度、緊急度、優先度の高い事業

II 農業振興において効果や広がりのある事業

III 市民と農業者の相互理解が深まる事業

計画期間内における各施策の重点事業	主な関連施策	重点事業名
	I 収益性の高い農業の実現	
	・ 農業経営の確立	⇒ 重点事業1【継続】 認定農業者の育成
	・ 市民による援農体制の検討	⇒ 重点事業2【拡充】 市民等による援農活動の促進
	・ 環境保全型農業の促進	⇒ 重点事業3【新規】 環境保全型農業の推進
	・ 地域の特徴を生かした農産物の振興 ・ 市内流通・販売の検討、推進 ・ 直売所の整備 ・ 観光農業の充実	⇒ 重点事業4【継続】 地場産農産物販売の拡大
	II 暮らしを豊かにする農のある空間の保全	
	・ 農地の貸借における仲介の促進	⇒ 重点事業5【拡充】 農地のマッチング体制の強化
	III 暮らしに新たな価値を創造する農業の展開	
	・ 農業情報の提供 ・ 市民と農業の交流機会の拡大	⇒ 重点事業6【継続】 農業者と市民の交流の場づくり
	・ 生産環境の整備 ・ 農業体験の場の確保	⇒ 重点事業7【継続】 体験型農園の推進
	・ 市内流通・販売の検討、推進 ・ 幼児、学校教育との連携	⇒ 重点事業8【拡充】 学校給食における地場産農産物利用の推進



5. 計画の推進にあたって

農業振興計画の実現には、行政のみならず、農業に関わる各団体の役割が重要であることから、引き続き、農業者、JA、市民、行政、関係機関等の協力体制および市内の連携体制の充実を図るとともに、農業施策の実施および農業振興計画の進行管理を行い、計画の実現を図ります。

東久留米市農業振興計画は、東久留米市ホームページ（以下のサイト）で公表しています。
<https://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/sesaku/keikaku/1028654.html>

東久留米市農業振興計画 令和8年 2月

発行 東久留米市
 編集 東久留米市 市民部 産業政策課
 住所 〒203-8555 東久留米市本町 3-3-1
 電話 042-470-7777(代) FAX 042-470-7811
 E-mail sangyoseisaku@city.higashikurume.lg.jp

